

# 牛久市(うしくし)

	市章 〒 300-1292 〈住所〉牛久市中央三丁目15番地1 〈TEL〉029-873-2111 〈FAX〉 029-873-7510 〈HP〉http://www.city.ushiku.lg.jp 〈e-mail〉webmas@city.ushiku.ibaraki.jp	地域指定 近郊整備	一部事務組合加入事業 退職手当 消防費しゅつ金 交通共済 消防災害補償 非常勤公務災害 市町村会館管理 滞納処分等 水道 下水道使用料徴収 し尿 消防 養護老人ホーム 老人福祉センター 共同研修 火葬場・斎場 水防	公営企業 法非適用(公共下水道 宅造 市場)
	類型 II-1 地方公共団体コード 082198 面積 58.88 km <sup>2</sup>			

## <行政組織>

### ①長等(平成26年5月1日現在)

長	いけのべ かつゆき 池邊 勝幸 (64歳)	任期	平成27年10月2日
		就任回数	3期目
副市長	野口 憲		

### ②議会(平成26年5月1日現在)

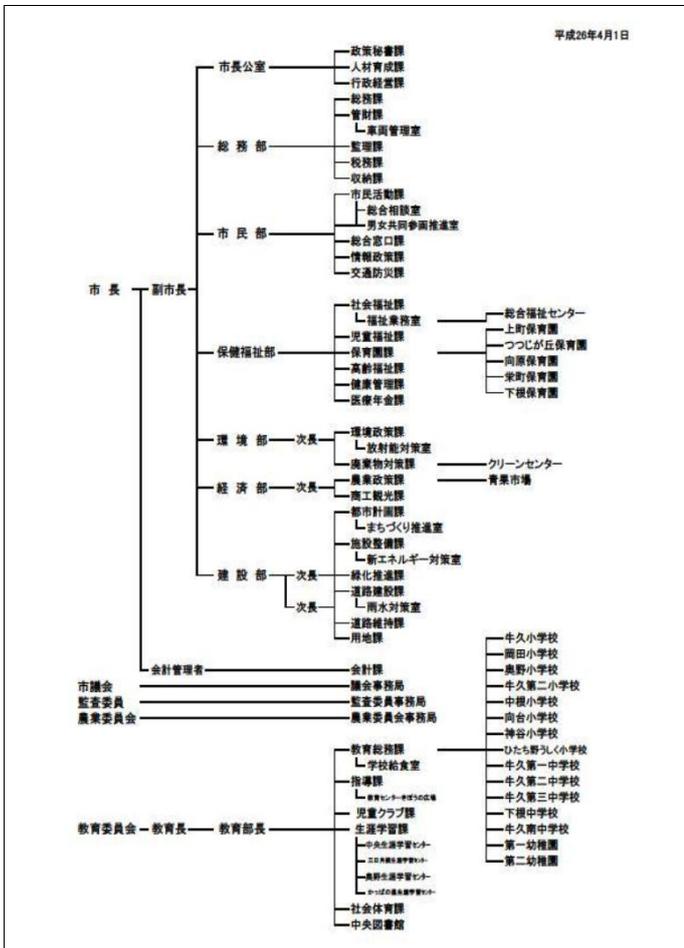
議長	山越 守	副議長	市川 圭一
任期	平成27年4月29日	条約定数	22人
現議員数	22人	党派別	公明3人, 共産3人, 民主1人, 新社会1人, みんな1人, 無所属13人

### ③職員数(平成25年4月1日現在)

全職員数	354	普通会計関係	329	うち一般行政関係	282	公営事業会計関係	25
一般行政職の平均給料月額	3,415 百円	ラスパイレシ指数	102.9	参考値※	95.0		
全職員数の推移	平成22年4月1日	平成23年4月1日	平成24年4月1日				
	386	375	360				

※ 参考値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置がないとした場合の値

### ④機構図(平成26年4月1日現在)



## <概要>

### ①沿革

昭和29年1月 牛久村が牛久町となる  
 昭和29年4月1日 牛久町と岡田村が合体  
 昭和30年2月10日 編入 奥野村  
 昭和32年7月1日 編入 阿見町大字福田の一部  
 昭和61年6月1日 市制施行

### ②地勢・風土等

牛久市は東京から50km、県南部に位置し、東西14.5km、南北10.7kmの広がりを持っており、鼓のような形態となっている。市の中央部を流れる小野川周辺及び南西側の牛久沼周辺は低地部となっており、その他の地域は関東ローム層の稲敷台地部によって形成されている。また、市内を国道6号線と常磐線が縦貫し、東西に首都圏中央連絡自動車道と国道408号線が通過しており、その地の利を生かした街づくりを進めている。特に、東部地区は、農地の保全・活用とともに2つの工業団地を有し、流通・工業ゾーンとしての位置付けがなされており、駅周辺の中心市街地とともに、市民と行政が一体となった魅力ある街づくりに取り組んでいる。

### ③人口・世帯数

区分	国勢調査			常住人口 (平成26年4月1日)	
	平成12年	平成17年	平成22年		
人口	男	36,390	38,339	40,803	41,536
	女	36,868	38,884	40,881	
	合計	73,258	77,223	81,684	
世帯数	24,763	27,917	31,569	33,265	

### ④有権者数(平成26年3月2日現在)

有権者数	男	女	計
	33,510	34,294	67,804

### ⑤高齢人口割合(H26.3.31住基人口)

高齢人口割合
31.5%

## <産業・経済>

### ①生産・所得(平成23年度)

市町村内総生産	2,252 億円	就業者1人当り	8,704 千円
住民所得	2,399 億円	人口1人当り	2,909 千円

### ②産業構造

区分	総生産額(平成23年度)		就業人口(平成22年国調)	
第1次	1,208	0.5%	773	2.0%
第2次	74,998	33.3%	9,391	24.6%
第3次	147,474	65.5%	26,265	68.9%
総額・総数	225,175	-	38,111	-

### ③農業・工業・商業

農業 (平成22年2月1日)	農家数	うち専業農家戸数	農業就業人口
	792	144	882
製造業 (平成24年12月31日)	事業所数	従業者数	製造品出荷額等 (H24.1.1~12.31)
	56	2,919	81,476
卸・小売業 (平成24年2月1日)	事業所数	従業者数	年間販売額 (H18.4.1~19.3.31)
	587	5,428	104,114

### ④特産物

落花生, 大根, すいか, 白菜, さつまい, 小菊

<財政状況>

①決算収支

(千円・%)

区分	平成23年度決算	平成24年度決算	増減率
歳入	25,607,729	27,576,347	7.7
歳出	23,841,916	25,206,636	5.7
形式収支	1,765,813	2,369,711	-
実質収支	669,558	805,524	-
単年度収支	145,041	135,966	-
実質単年度収支	280,850	△ 1,382,286	-

②主な歳入・歳出(平成24年度)

(百万円・%)

区分	決算額	構成比	増減額	増減率
<b>歳入</b>	27,576	-	1,968	7.7
地方税	11,590	42.0	△ 58	△ 0.5
地方交付税	1,738	6.3	△ 187	△ 9.7
国庫支出金	3,399	12.3	△ 73	△ 2.1
地方債	2,163	7.9	△ 112	△ 4.9
うち臨財債費	1,279	4.6	-	-
その他	8,686	31.5	-	-
うち繰入金	2,424	8.8	-	-
<b>歳出</b>	25,207	-	1,365	5.7
義務的経費	11,055	43.9	1	0.0
人件費	4,200	16.7	△ 62	△ 1.5
扶助費	4,389	17.4	114	2.7
公債費	2,466	9.8	△ 51	△ 2.0
投資的経費	3,874	15.3	-	-
普通建設事業費	3,640	14.4	746	25.8
うち補助	2,678	10.6	594	28.5
うち単独	961	3.8	151	18.6
その他の経費	10,278	40.8	-	-
うち繰出金	2,381	9.4	-	-

③主要指標(平成24年度)

・健全化判断基準

実質赤字比率	- % ( 12.82 )
連結実質赤字比率	- % ( 17.82 )
実質公債費比率	5.8 % (25.0) [9.8]
将来負担比率	0.6 % (350.0) [55.0]

・普通会計に関する主な指標

財政力指数(平成23年度～平成25年度)	0.880	[0.693]
経常収支比率	93.4 %	[88.7]
標準財政規模(平成25年度)	14,677 百万円	[15,113]
地方債現在高(A)	22,084 百万円	[22,770]
債務負担行為支出予定額(B)	2,841 百万円	[2,718]
積立金現在高(C)	4,611 百万円	[6,994]
将来にわたる財政負担(D=A+B-C)	20,314 百万円	[18,495]

※1 ( )は早期健全化基準、[ ]は県平均値

※2 県平均のうち実質公債費率及び将来負担比率は加重平均、それ以外は単純平均

④市町村税の状況(平成24年度)

(千円・%)

区分	調定額	収入額	徴収率 [ ]は県平均値
市町村民税・個人 (構成比)	5,536,483 ( 43.0 )	4,977,620 ( 42.9 )	89.9 [90.5]
市町村民税・法人 (構成比)	724,053 ( 5.6 )	694,503 ( 6.0 )	95.9 [98.0]
固定資産税 (構成比)	5,067,603 ( 39.3 )	4,531,004 ( 39.1 )	89.4 [89.8]
市町村税合計 (国保除く)	12,879,600	11,590,055	90.0 [91.3]

<公共施設整備状況>(平成24年度) ※1は平成25年度 ※2は平成23年度

小学校 ※1	8 校	プール	2 か所
中学校 ※1	5 校	児童館	0 か所
幼稚園 ※1	8 園	老人福祉施設 ※2	21 か所
保育所 ※1	14 か所	病院・一般診療所	56 か所
図書館	1 か所	道路改良率	57.2 %
公営住宅	313 戸	道路舗装率	67.9 %
公民館等	5 か所	上水道等普及率	88.4 %
体育館	1 か所	汚水処理普及率	92.6 %

<主要施策等>

①主要施策実施状況

(百万円)

名称	期間	内容	概算 事業費
民間保育園の建設支援	H26	市内に建設予定の民間保育園(2園)の建設に対する補助を実施。	274
医療福祉費支給制度(マル福の拡大)	H24～	平成24年度より小児外来の対象を中学3年生まで拡大し、さらに、所得制限の撤廃や妊産婦の対象疾病の拡大等にも引き続き取り組む。	1,574
放射能対策事業	H23～	市内公園、学校等の除染を実施するとともに、放射能測定器の市民への貸し出しや、ホールボディカウンター検査を実施する。	381
市道23号線(北側延伸第二工区)を改良舗装する	H25～ H28	市道23号線の北側延伸第二工区を整備し、早期開通を目指す。	1,400

②今後の主要課題・特色ある行政等

<p>&lt;主要課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・超高齢社会の進展に伴う税収減・扶助費の増に対応した財政運営</li> <li>・ひたち野うしく地区における小中学校整備</li> <li>・バイオマスタウン構想による地域循環型社会の構築</li> <li>・ワインビレッジ構想に基づく牛久駅周辺の活性化</li> <li>・グリーンロード構想に基づく地域づくり</li> <li>・雨水対策事業の推進</li> <li>・清掃工場整備の改修</li> <li>・行財政改革の推進と中期財政計画に基づく事業展開</li> <li>・牛久駅周辺地区の活性化</li> </ul> <p>&lt;&lt;特色ある行政&gt;&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然との調和と共存を目指したスローシティのまちづくり</li> <li>・小学校区単位での地区社協の設立</li> <li>・各種予防接種への助成</li> <li>・小学校空き教室を利用した保育園の運営</li> <li>・学校教育と連携した児童クラブの運営</li> <li>・非常勤一般職の月額報酬制の導入</li> <li>・耕作放棄地の解消</li> <li>・放射能汚染に対するホールボディカウンター検査・甲状腺検査等の実施</li> <li>・市内防犯灯のLED化及び一括管理</li> </ul>
---